

平成28年度 子供ゆめ基金体験の風リレーションシップ事業 家庭の教育力を高める「ファミリーキャンプ②」

- 1 趣 旨 自然体験を通して家族の絆を深め、家族相互の交流を図る。
- 2 期 日 平成28年7月9日（土）～10日（日） 1泊2日
- 3 対 象 者 キャンプや海浜活動など、自然体験に興味のある家族
- 4 募集定員 12家族60人
- 5 参 加 者 9家族33人（応募数：38家族144人）
※参加予定の12家族から、3家族が忌引き、体調不良、荒天のため不参加
- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家職員 ボランティア4人
- 7 日程と主な活動

7月9日（土）	7月10日（日）
14:00 受付（自然の家本館）	6:00 起床
14:30 出合いのつどい 歓迎のあいさつ 家族紹介 自然の家職員・ボランティア紹介 オリエンテーション	6:45 朝のつどい
15:00 活動「カード集めジャンケン」 「七夕飾り作り」	7:00 朝食「カートンドッグ」
16:00 野外炊飯「バーベキュー」	8:30 活動「スポーツクライミング」 「ボール遊び」
19:30 テント設営	10:10 アンケート
20:15 入浴	10:20 別れのつどい 送別のあいさつ
21:15 自由交歓 家族間交流	ボランティア感想発表
22:00 消灯	10:30 解散

8 事業運営について

- (1) 海浜施設・新城海の家を利用して、テント泊及び海の活動をメインにしたファミリーキャンプを7月、8月、9月に1回ずつ計画し、実施することとした。
- (2) 台風の接近による荒天が予想されたため、テント泊や海浜活動が実施できない可能性があることを事前に参加者に伝え、その際には代替のプログラムを実施することを了解いただいた。
- (3) ボランティア4人のうち、3人が初めての参加であったため、スタッフスケジュールに沿った「ボランティアの動き」を作成し、活動の手引きとなるように配慮した。



9 事業の実際

- (1) 9日(土)9時に、荒天のため、自然の家本館に集合し、プレイホールにテントを設営して、宿泊することを電話連絡で参加者に伝えた。
- (2) 「カード集めジャンケン」では、互いに自分の名前と好きな食べ物などを紹介した後にジャンケンをしたため、楽しい雰囲気の中で交流を深めることができた。その後の「七夕飾り作り」では、家族で相談したり協力したりして、色とりどりの飾りを作り、笹竹につるしていた。
- (3) 「野外炊飯」の際、大雨のため炊飯場を使用できなかったが、本館内で調理や炊飯の場所を工夫し、楽しく準備や調理をしたり、夕食をとったりすることができた。中には、2家族で一緒に会食する場面も見られた。
- (4) 「テント設営」では、職員の説明の後、家族で協力しながら進めることができた。
- (5) 入浴後の「自由交歓」では、子供たち同士は仲良く遊んだり保護者間では楽しく会話したりと、家族間の交流が図られていた。
- (6) 2日目の「スポーツクライミング」では、初めてチャレンジする子供が多く、頂上目指して懸命に登ろうとしていた。保護者の中からもクライミングにチャレンジする方が続出し、頂上まで登りついた保護者の姿も見られた。

10 参加者の感想

- 昔の体験ができて良かった。スポーツクライミングが楽しかった。(子供)
- 雨の日は雨の日なりの楽しみ方があるんだなあと思いました。今後も臨機応変に物事を楽しみたいです。(保護者)
- スケジュール変更のイレギュラーな中、進行していただきありがとうございました。(保護者)

11 成果

- 導入時に、家族紹介や自己紹介を入れたジャンケンゲームを行ったことで、子供たちはすぐに仲良く遊ぶ姿が見られた。保護者間では、楽しく会話しながら御飯を炊いたり食材の準備をしたりする中で交流が深まっていった。
- 参加者に対し、台風接近によるプログラム変更等について、事前に詳しく説明し了解を得ていたことで、参加者からの不平や不満の声が出ることなく、代替のプログラムを楽しんでいただいた。

